

# ボランティア コミュニケーション

Volunteer Communication



## 互いに結びあい 共に支えあう まち

誰もが「かけがえのない存在」として、  
ときには「支え」、ときには「支えられる」、  
支えあいのまちづくり(地域共生社会)を進めます。

災害ボランティア ⇒ 2-3ページ / 「地域とつくる支援の輪プロジェクト」⇒ 4-5ページ

社会福祉法人 大田区社会福祉協議会

### おおた地域共生ボランティアセンター

TEL. 3736-5555 FAX. 3736-5590

〒144-0051 大田区西蒲田7-49-2大田区社会福祉センター5F

開所日時:(月)~(金) 9:00 ~ 17:00 《祝日・年末年始を除く》

メール:voc@ota-shakyo.jp

HP: <https://www.ota-shakyo.jp/>

この情報誌  
ここからも  
読めます!



# できることから 被災地支援 はじめよう

ボランティア受付



災害が発生すると私たちの身近な媒体で寄附金や支援物資の募集のお知らせを多く見ます。  
現在、被災地の支援は現地に出向いてボランティア活動するだけでなく、みなさんそれぞれに、できることがあります。自分に合った支援の仕方を無理なく持続的に続けていくことが大切です。  
被災地支援の方法、心構えをご紹介します。

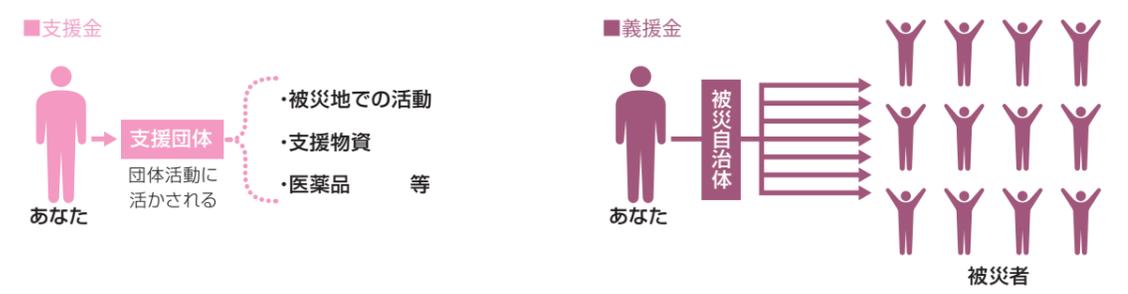
## 募 金



募金にもさまざまな種類、方法があります。  
よく耳にするのが「支援金」と「義援金」です。みなさんが募金は誰がどのように使うのかご存知でしょうか。せっかくの募金ですので自分自身でどちらにするか判断し、選択しましょう。



	支 援 金	義 援 金
届 け 先	被災地支援のNPO、ボランティア団体等に届く	自治体を通じ被災者に届く
使 用 用 途	人命救助やインフラ整備などの復旧・復興事業に役立てられる	分配金は直接被災者に分配される
公平な配分	各団体によって用途は異なる	公平・平等に被災者に配布される
被災地に届くまで	被災地からのニーズに対して、支援機関が柔軟に使用できるのではよい	被災者の数などの情報をもとに均等に配分するため時間が掛かる



## 支 援 物 資



被災直後は現地がとても混乱しています。テレビやラジオ、Twitter等で「避難所でオムツがたりません」というように生の声を聞きますが、被災地の状況は刻々と変化していきます。焦って行動して失敗しないように下調べを入念に行ってください。



- ①避難所や物資収集所の受入の体制が整っているかを行政のホームページ等で確認してください。
- ②新品、もしくは新品同様のものを送りましょう。使わなくなったから、要らないからというモノを送ってはいけません。
- ③1つの箱に1種類のモノを入れてください。仕分けする人の為にも重くなりすぎないように、箱の外には何が入っているのかわかるようにしてください。

## 被災地の商品の購入



被災地域の商品の購入や、チャリティーアイテムの落札をすることは応援になります。復興のために普段の生活で意識してみるのも良いのではないのでしょうか。現地に行かなくてもインターネットやアンテナショップ等で購入することができます。

## 被災地での災害ボランティアの活動



活動にあたっては、参加される方が、以下のような事前の準備が必要となります。

1. 情報収集  
被災地は多くの場合、混乱しています。被災地の行政や社協のHP等で、ボランティアの受け入れを行っているか、情報収集を行きましょう。
2. 持ち物・服装  
災害の種類や季節にもよって変化しますが、大切なことは、自分自身の体をしっかり守る準備を行った上で、活動に参加しましょう。
3. ボランティア保険について  
ボランティア活動に向かう前に最寄りの社会福祉協議会の窓口で加入しましょう。

## 被災地の「今」を知る



報道されなくなると、どこか忘れてしまっている自分がいます。まだまだ復興の途中で何かできることがあるかもしれません。風評被害で悩んでいる地域であれば、あなただけでも正しい現状を把握しておくことがとても大切なことなのです。

また、その災害をとおして自分の住んでいる家や地域で備えておくべきことも見えてくるはず。同じこと繰り返さないためにも、災害から学ぶことは大きいのではないのでしょうか。

詳しくは  
☎03-3736-5555 大田区社会福祉協議会 大田区西蒲田7-49-2 おおた地域共生ボランティアセンター 大田区社会福祉センター5F

# 地域とつくる 支援の輪プロジェクト



地域とつくる支援の輪プロジェクトは、平成29年に大田区が作成した「おおた 子どもの生活応援プラン」に基づいた事業で、大田区社協福祉協議会は、平成30年度に大田区から受託し、事業を実施しています。

地域とつくる支援の輪プロジェクトは、子どもの貧困対策に取り組む団体間のネットワークを構築することで子どもの見守り機能の強化を目的としたプロジェクトです。

大田区には、100を超える団体が子どもに関する地域活動をしています。その一つひとつの活動が、大田区の子どもの将来を支えています。そんな地域の活動がつながり、大きな支援の輪になって子どもたちをあたたく見守っていくことを目的としています。

## 【こども1000人アンケート】

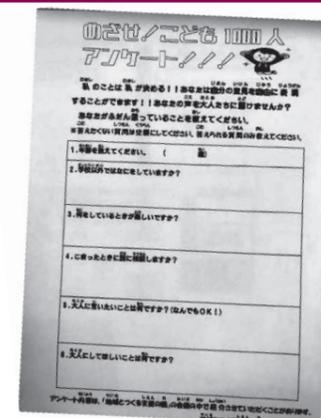
こども1000人アンケートは、活動団体の皆様と子どもの想いを今一度理解し、共有することを目的に、昨年度から実施しています。昨年度は、「1229名」の子どもに協力していただきました。

「大人に言いたいこと、してほしいことは」の問いに子どもたちは、「いじめをなくしてほしい」「駄菓子屋を作ってほしい」「いつもありがとう」など、様々な回答をしてくれました。

昨年度のアンケート結果は、大田社協ホームページで閲覧できます。



大田社協ホームページ



## 【コドモとトーク】

全体会の中で実施した【コドモとトーク】では、16名の14歳～21歳までの子ども、若者に登壇していただきました。その場でアンケートの内容や、普段思っていること、将来の夢について本音で話していただき、来場した団体の方の質問にも答えてもらいました。

とても率直で心に響く発言の数々に、集まった大人の多くが涙を抑えきれませんでした。

子どもたちが、多くの大人の前で意見表明ができる場は限られています。「地域とつくる支援の輪プロジェクト」では、当事者である子どもの声を大切に、誰もがこぼれることのない支援の輪を大田区に広げていきたいと思えます。



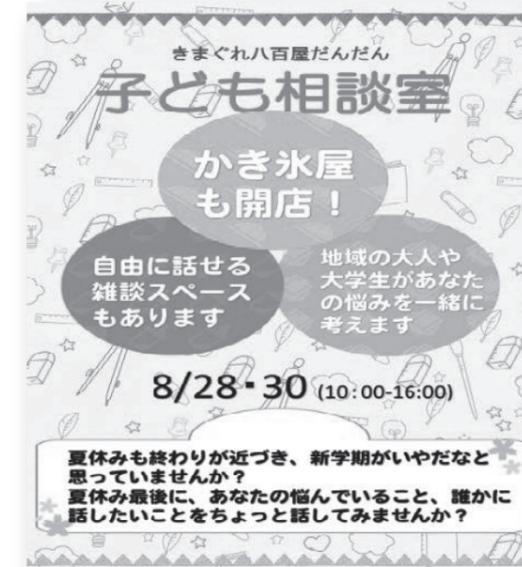
## 【子ども相談室】

1229名のアンケートの結果を受けて、大人が子ども達の声にどう応えるのか、小さくてもなにかしらのアクションを起こすことが大切だと考え、アンケートの中に見られた「自分の意見を聞いて欲しい」「大人に相談したい」という意見を受けて令和元年8月28日、30日の2日間、「きまぐれ八百屋だんだん」の一室をお借りして「子ども相談室」を実施しました。

数名のお子さんが集まって大人と交流し、交流の中から相談につながることもありました。

子どもの声に耳を傾け、一緒に悩んでくれる大人がすこしでも増えることを願っています。

問い合わせ：大田区社会福祉協議会 おおた地域共生ボランティアセンター ☎03-3736-2266





Notice & Course Navi

ボランティア  
お知らせ&講座 Navi

申し込み 問合せ  
おおた地域共生ボランティアセンター  
TEL. 3736-5555  
FAX. 3736-5590

■再就職支援セミナー(無料)

- シニアの就職活動「実践!履歴書・面接対策」
- ◇日時 ①(履歴書)1月27日(月)14:00~16:00  
②(面接)1月28日(火)14:00~16:00
  - ◇会場 大田区社会福祉センター 4階 会議室
  - ◇定員 先着30名程度
  - ◇申込 24日までに電話もしくは窓口へ  
①②は、どちらか一方でも参加可能

■申込・問合せ

大田区 いきいき しごと ステーション  
TEL:5713-3600  
月~金(祝祭日を除く) 午前9時~午後5時

■絆サービス登録説明会

- 絆サービスとは…区内高齢の方への家事支援サービスです。
- 日時・場所  
①令和2年2月5日(水)13時から16時  
シニアステーション糀谷  
②令和2年2月19日(水)13時から16時  
調布地域庁舎1階
  - 内容  
絆サービスの概要、ボランティアとしての心構え、家事支援についてなど。
  - 申込み  
おおた地域共生ボランティアセンターに電話、FAX、メールにてお申し込みください。

働きながら介護する方への  
応援セミナー

- ▽内容
  - ・介護が始まる前に知っておくべきこと。
  - ・介護離職しないために、支援制度の知識と両立の知恵。
  - 専門家が詳しくお話しします。
- ▽対象  
大田区在住・在勤者
- ▽日時  
令和2年2月1日(土)午後2時~午後4時
- ▽会場  
大田区社会福祉センター 4階会議室
- ▽定員  
60名(予約制・先着順)
- ▽申込方法  
電話にて予約してください。

■申込・問合せ

おおた地域共生ボランティアセンター  
共催:一般社団法人大田区支援ネットワーク

第13回 NPO・区民活動フォーラム  
つながる笑顔 広がる地域の輪

- ▽内容  
・大田区内で活動する区民活動団体による体験ワークショップ  
・展示 ・お楽しみショー ・模擬店  
・やりがい探しサロン
- ▽対象  
どなたでも
- ▽日時  
令和2年2月9日(日)午前10時~午後3時30分
- ▽会場  
池上会館
- ▽申込不要

同時募集!!

当日の運営ボランティア大募集!!

- ▽内容  
・ショーステージの運営補助  
・各エリアの時間管理  
・はねぴよんの介添  
・屋外での自転車の管理、誘導等

■問合せ

大田区地域力推進課区民協働担当  
TEL:5744-1204



ボランティアコミュニケーション配置ご協力ありがとうございます

大森郵便局/蒲田郵便局/田園調布郵便局/千鳥郵便局/大田東嶺町郵便局/田園調布駅前郵便局/とくもち歯科医院/マンガハウス萩中公園前店/喫茶色えんぴつ/京浜島勤労者厚生会館/宮下耳鼻咽喉科/東六郷リサイクル・エコ/東急スポーツオアシス多摩川/ホームセンターコーナン本羽田萩中店/さわやか信用金庫各支店/大田区浴場組合加盟の各浴場  
上記のほか、大田区関係施設(特別出張所・図書館・文化センターなど)や区内の福祉施設にも配置しています。

「ボランティア・コミュニケーション」は偶数月に発行しています。掲載は無料です。  
次号2・3月号掲載申込み、1月6日まで受付中!!